

西多摩農業改良普及センターからのお知らせ

センチュウ被害を防ぎましょう

センチュウ被害は一般的な虫害とは異なり、発生を確認してからの防除では効果は限定的で、発生させない・拡大させないための対策が大変重要です。



主任普及指導員 原島 浩一

有効な対策としては、「D-D」などの土壌燻蒸剤の利用や、土壌還元消毒などの方法がありますが、立地条件などの制約のため利用できない場面がみられます。一方、対抗植物を利用する方法は、対抗植物の生育期間とすき込み後の一定期間には作物栽培はできませんが、環境に優しく低コストで、有用な微生物も温存できます。秋作では、ニンジン、ダイコンで被害が多くみられます。農作物の作付け計画にあわせて、適切に草種を選択すれば高い効果が期待できます。ここでは、緑肥としても利用されている対抗植物について、利用方法をもう一度確認してみます。対抗植物は各種苗会社から多くの商品が市販されています。代表的なものを表1にまとめました。なお、すき込みに際しては、ロータリーへの巻き込みを防ぐため細断してから行うと良いでしょう。

表1 対抗植物と対象となる主なセンチュウ

代表的な対抗植物	センチュウ※				播種期 (月/旬)	すき込み時期	備考
	サ	キブ	キグ	ミ			
イネ科							
ギニアグラス 〔ナツカゼ〕〔ソイルクリーン〕	○	○	○	○	6/上～8/上	播種後40～60日程度 の出穂始め。すき込み 後分解期間は 30日程 度。エンバクは年内に すき込む。	生育旺盛で緑肥収量が多 い。ギニアグラス、エンバク は落ち種子で雑草化する。 ソルゴーは深根性で耕盤層 改良効果が望める。
ソルゴー 〔つちたろう〕〔スタックス〕	○	○	△	×	5/中～8/中		
エンバク野生種 〔ヘイオーツ〕			○		3/上～5/下、 8/下～9/中		
マメ科							
クロタラリア・ジュンシア (細葉;〔ネマコロリ〕)	○	○	×		5/下～8/上	開花前(播種後50日程 度)。すき込み後の分 解期間は30日程度。	土壌中に窒素固定する。深 根性で耕盤層改良効果が望 める。景観作物。ジュンシア は初期生育が早い。
クロタラリア・スペクタビリス (丸葉;〔ネマキング〕 〔ネマグリーン〕)	○	○	○	○			
キク科							
アフリカンマリーゴールド 〔アフリカントール〕	○	○	○		5/下～7/上	開花期(播種後80～ 90日程度)。すき込み 後の分解期間は30日 程度。フレンチは草丈 が低く、すき込みが容 易。	高性種。景観作物。
フレンチマリーゴールド 〔セントール〕 〔グランドコントロール〕	○	○	○	○			花壇・鉢物としても 利用される
メキシカンマリーゴールド	○	○					高性種。景観作物。

(※) サ: サツマイモネコブセンチュウ、キブ: キタネコブセンチュウ、キグ: キタネグサレセンチュウ、ミ: ミナミネグサレセンチュウ、○: 密度抑制効果がある、△: 効果低い、×: 効果無いまたはセンチュウが増える



左: マリーゴールド
中: クロタラリア
右: キュウリのセンチュウ害

センチュウは移動する力はほとんどなく、被害拡大の多くは人間の活動によるものです。①連作をしない、②作物の残さを放置しない、③雑草の根にも寄生して増殖するので除草を徹底する、④圃場間を移動する際は被害圃場を最後にする、⑤移動の際はできるだけ農機具・長靴に付着した土(センチュウを含むことが多い)を洗い流す。この5点を心がけましょう。